

Sagabi News 66





告知・報告

■ 教学振興資金寄付のお願い

本学園では教育研究に関わる活動に対する支援を目的として、毎年、教学振興資金のご寄付を募集しております。この寄付金は教育研究活動の充実、施設設備等教育研究環境の充実、学生の奨学制度の充実など、学生の学びの環境の充実に活用されます。

金額は個人：1口5万円、法人：任意とさせていただいております（1口未満のご寄付もありがたくお受けいたします）。2018年4月から2019年3月末まで、在学生保護者、卒業生、教職員、企業・法人、一般有志の方々等へ広く募集を行っております。

個人で本学園へのご支援をお考えくださる方は、本学ホーム

ページ「ご寄付のお願い」の申し込みフォームよりお申し込みください（下記QRコードよりアクセスしていただけます）。

また、企業・法人の方は、全額損金算入が可能な「受配者指定寄付金」のお取り扱いが可能ですので、管理運営グループまでお問い合わせください。

お申込みいただいた後、専用の払込取扱票（手数料は無料です）をお送りいたします。

なお、ご親族・お知り合いの方などにご支援くださる方がいらっしゃいましたらお知らせいただければ幸いです。

昨今の厳しい経済情勢で申し上げにくいお願いではありますが、本学園の教学振興にご理解をいただく皆さまにご支援をお願い申し上げます。

本学園「ご寄付のお願い」
ウェブサイトURL

<http://www.kyoto-saga.ac.jp/donation>

問い合わせ先： 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 管理運営グループ（寄付金窓口）
Tel.075-864-7858 / Fax.075-881-7133
e-mail : soumu@kyoto-saga.ac.jp



↑ 申し込みフォームこちら ↑

2017年度 教学振興資金寄付ご報告

教学振興資金寄付につきまして、ご協力賜りました皆さまのご厚意に深く感謝申し上げます。2017年度教学振興資金寄付金は古本募金も含めて103件、1,478,160円となりました。また、2015年度に創設しましたワークスタディ奨学金制度といった奨学金制度の拡充、在学生の学修環境の充実をさらに進めております。今後とも社会に有為な人材の輩出を目指し、教育・研究に係る施設・設備・制度等の充実に努めてまいりますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

嵯峨美古本募金さがりポンプロジェクト(2017年度)につきましては、皆さまの善意により、昨年度は29,160円となり、図書購入費用として本学附属図書館の充実に活用させていただきました。

本学図書館は在学生のみならず学外の方にもご利用いただいております。今後ともご不要となりました本などございましたら、学内に設置の古本回収ボックス※1にご投函いただくか、もしくは5点以上を段ボール箱に詰めて、きしゃぼん(フリーダイヤル0120-29-7000またはWeb申込フォーム<http://www.kishapon.com/sagagei/>)へお申込みいただければ、送料無料でご希望日時に宅配業者が集荷に伺いますので、引き続きご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年度 寄付者の方々(五十音順・敬称略)

教学振興資金寄付へのご協力、心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝の意を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

青木 達也	芦田 智	安部友紀子	天久 正人
伊勢 信子	稲野 和教	乾 龍仁	井上 一彦
岩崎 知司	梅原 和弘	浦井 俊憲	岡村美砂子
小川 陽子	小田真里恵	加藤 明子	金氏 脩介
下保 昭	河合 宏一	北村 正寿	木村 昭三
玄巢 慶俊	小磯 守正	坂尾 康秀	坂口 俊文
寄田 耕平	佐藤 一郎	佐野 美幸	澤田 周
篠原 悦子	柴田 昌史	清水 正彦	杉本 武
鈴木 良介	蘇理 淳子	高橋 依子	竹川 将樹
谷村 律子	辻木 敏治	徳田 龍哉	飛松 繁伸
中畠 英雄	長松 倫章	野田 久代	橋本 泰博
原田 宗明	久安 勝志	深澤 澄江	藤木 民子
藤村 享子	藤原 啓治	真板 昭夫	松田 千春
見市 泰男	水谷 好夫	美馬 義信	宮田 幸典
三好 茂夫	三好 睦人	宗石 知大	村上美智子
森川 正英	森野 茂	森本 知恵	山尾 敏樹
山下 豪一	山田真由美	山中 信子	山本 記子
山本 稔	吉岡 健二	吉見 幸子	米田 夏夜
渡辺 典子	渡邊 智洋		

※お名前公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。

※1 回収ボックスの設置箇所は、「管理棟1F事務局内」「C棟3F教育・機材SC前」「有響館B1図書館内」の3箇所となっております。

大学報告

ホームカミングデイ報告

今年度の「嵯峨芸・嵯峨美ホームカミングデイ」は、6月10日(日)に開催いたしました。卒業生や、退職教職員の皆さまをお迎えし、軽食やスイーツバイキングでおもてなしました。いけばな嵯峨御流の先生方にもご協力いただき、豪華な生花で会場を華やかに彩っていただきました。開会后、佐藤同窓会長にご挨拶をいただき、同窓会による世代を超えて楽しめるイントロクイズなどのイベントで、卒業生とともに青春時代を思い出しながら大いに盛り上がり、名残を惜しみながら盛会のうちに終えることができました。(管理運営グループ)



教育後援会総会報告

2018年度総会が7月1日(日)に本部キャンパスAVホールにて開催されました。2017年度事業・決算報告と2018年度事業計画・予算のほか、名称変更、学生への補助金額増額、新役員が選出され、全て承認されました。これにより、学生への補助金については2019年度より展覧会や公募展、クラブなどの合宿、教員引率による研修旅行に対する補助金が増額されることになります。総会閉会后には、学科・分野別に担当教員との懇談会や、事務局職員との成績や学生生活、就職についての個別相談会が実施されました。就職セミナーや、学生の案内による施設見学会も実施され、多くの方にご参加いただきました。また、暑い中ではありましたが、

当日お配りした無料拝観券で「旧嵯峨御所 大本山大覚寺」へもご参拝をいただきました。参加者の皆さまからはおおむねご好評をいただき、本学の教育支援、教育環境の一端をご理解いただく良い機会となりました。(管理運営グループ)



ITOPICS

2018年度オープンキャンパス、体験入学報告

前期オープンキャンパスを3月25日(日)、4月29日(日)〈予約型〉、5月20日(日)、7月22日(日)に開催しました。来場者は昨年度を大きく上回りました。

また、志望分野・領域の授業を体験できる体験入学を5月27日(日)、6月17日(日)に実施しました。7月8日(日)に予定されていたAO入試プレ体験は平成30年7月豪雨の影響により残念ながら中止となりましたが、代替プログラムを7月22日オープンキャンパスで実施しました。今後も広報活動やイベント内容を充実させ、一人でも多くの方に本学の学びを知っていただけるようにいたします。

2019年度入試では、AOI期・Ⅲ期を体験授業型、AO入試

Ⅱ期は面談型で行いました。さらに、昨年度も多数受験いただいた「スカラシップ(特別奨学生)入試」は11月と3月の2回実施します。本入試の合格者は特待生として、大学では総額200万円、短期大学では総額100万円の給付を受けることができます。(※継続審査有)(入学広報グループ)



展覧会報告

百妖箱〈大江山・日本の鬼の博物館〉妖怪作品展

福知山市の大江山には酒吞童子という鬼の王が住んでいたという話が『大江山絵詞』などにあります。この酒吞童子の物語を元に、日本全国の鬼面や鬼瓦などを展示しているのが「日本の鬼の交流博物館」です。2018年は博物館の創立25周年にあたり、その記念事業として「怪奇!大江山妖怪屋敷」と銘打たれた妖怪作品展が企画され、本学サークル「妖怪藝術団体 百妖箱」にプロデュース依頼がありました。7月14日から9月2日まで、館内には百妖箱メンバーである本学学生、卒業生、教員が制作した妖怪作品が展示され、その様子はマスコミ各社に報道され、例年の倍以上の来館者数を記録しました。

地方の妖怪伝説は、地域振興の起爆剤となる可能性を秘めており、また創作とも相性の良い題材です。本学観光デザインの妖怪イベントから生まれた百妖箱にとって、今回の企画は「地域×妖怪×アート」をテーマに、創作活動による社会貢献の可能性を示すことができた事例となりました。(嵯峨美術大学・河野準也講師)



「Homo Orans—現代の祈りのかたち」展 報告

「Homo Orans—現代の祈りのかたち展」は、本学教員の松本泰章、上田香、岩崎陽子と大学院生、卒業生、フランスのアーティストたちで開催した、祈りをテーマにした国際展覧会です。

Homo Oransというタイトルは、ラテン語で「祈る人」の意味です。宗教的な場に限らず、人は様々な場面で己よりも大きな存在の力を信じ、祈りを捧げています。

現代の私たちが祈るとき、どのような言葉で、どのようなスタイルで、何に向かって、どのような空間でその行為を

行う(行いたい)のでしょうか。こうした祈りへの問いかけに回答するかたちで、日仏の8人のアーティストたちが「現代の祈りのかたち」を表現しました。

(嵯峨美術短期大学・岩崎陽子准教授)



Artists: 青山 莉奈、上田 香、國米 翼、原田 歌織、松本 泰章、三好 温人、Ma Zonca、Victor Fraigneau
Curator: 岩崎 陽子

【第1期】2018年7月11日(水)～7月15日(日)

会場: 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 附属ギャラリー「アトスペース嵯峨」

● 記念対談 7月13日(金) 森本 武(嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学学長)×三好 温人(真言宗僧侶/美術家)

【第2期】2018年7月16日(月)～7月18日(水)

会場: 堀川御池ギャラリー

● performance "Eurydice2018" 7月16日(月) 松本 泰章、西垣 薫

ITOPICS

サガ・クリエイターズクラブ(SCC) 第13回ワークショップを開催しました。

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)では、6月30日(土)午後1時より本学第1ゼミ室にて、本学名誉教授の三宅章介先生、藤本秀樹先生を講師に迎え、「ボクラノサハウ1973→2018 時の過ぎゆくままに45年、気がつけばあんなこと、こんなことしてきた」と題して、第13回目のワークショップ(トークイベント)を開催いたしました。

今回講師としてご登壇いただいたのは、1976年に嵯峨美術短期大学に着任されて以来、2016年3月まで40年以上にわたって本学の教育・研究活動にご尽力いただいた三宅章介名誉教授、藤本秀樹名誉教授です。ワークショップでは、学生時代から今日までに制作してきた作品について、それぞれの時代のアートシーンの解説も交えながら紹介していただき、テーマ性、創作の源となっている発想などを語っていただきました。また、ワークショップの進行役をビジュアルデザイン卒業生で両先生の教え子である松田聖子さんに務めていただき、先生方との軽妙なやり取りの中からこぼれ話を引き出すなど、終始和やかでアットホームな雰囲気の中で進めていただきました。講演終了後は参加者と熱心な質疑応答が行われ、充実したワークショップとなりました。

サガ・クリエイターズクラブ(SCC)は、卒業生の作家活動・社会的活動の支援、文化事業における大学との事業連携、卒業生相互の交流と親睦を深めることを目的に、2013年11月に発足しました。2014年には卒業生だけでなく、在学生や教職員、退職された教職員など学園関係者すべてが集うことのできるクラブへと会員資格を拡大し、現在640名余りの会員を擁する会に成長してきました。(2018.7現在)サガ・クリエイターズクラブ(SCC)のサイトでは、会員の個展やイベント情報を紹介するほか、Webギャラリーに会員の作品を掲載しています。また、会員から寄せられた個展やイベントなどの情報は、定期的に全会員にメール配信しています。今後とも大学から会員への情報発信の場として、学園関係者の交流の場として一層の充実を図ってゆく予定です。(学長室)



告知

美の術を凝縮させた『学園祭』を。

「何系の学校に行っているの?」と聞かれ「美術系です」と答えると、だいたいの方は「へえ〜!どんな絵を描くの?」と聞いてきます。

「美術系」だと答えたのに「絵」だと決めつけた理由はおそらく、『美術=絵を描く』という固定概念が共通認識としてみんなの中にあるからではないでしょうか。

遅くなりましたが、どうも初めまして。学友会で会長を務めております、菅原 照響です。

『美術=絵を描く』という固定概念は、「よく知らない、わからない、絵以外の美術にあまり触れた事がない」事が原因で根強く残っているのだと私は考えております。

この固定概念を払拭すべく、今年の学園祭のテーマを

『さまざまなアートに触れる!』というものにしました。今まで知らなかった、気がつかなかった美術に触れることで、みなさんの『美術』という概念をぶち壊します。開催日は10月27日(土)、28日(日)の2日間です。お暇の有無に関係なく、心よりお待ちしております。

(学友会会長 菅原 照響)



本学関係者による展覧会情報

大沼憲昭/嵯峨美術大学 造形学科日本画・古画領域
『観〇光 ART EXPO 2018 京都・鎌倉(京都展)』

会 期：10月16日(火)～28日(日)
会 場：御寺泉涌寺(京都市東山区泉涌寺山内町)

田島周吾/嵯峨美術大学 造形学科日本画・古画領域
『田島周吾日本画展』

会 期：11月14日(水)～20日(火)
会 場：大阪高島屋美術館(大阪市中央区難波)

一色真由美/嵯峨美術大学 造形学科日本画・古画領域
『波の穂』

会 期：10月3日(水)～9日(火)
会 場：サンセイドゥギャラリー(神戸市中央区三宮町)

※会期延長の可能性あり。詳しくはギャラリーHPへ。
※会場HP <https://sanseido-gallery.com>

附属博物館スケジュール

「濱田弘明・谷内春子・中西信洋三人展」

会 期：10月11日(木)～24日(水)
時 間：10:00～17:00
休館日：10月14日(日)、21日(日)

「池内美絵展(仮)」

会 期：11月9日(金)～12月3日(月)
時 間：10:00～17:00

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

「濱田弘明・谷内春子・中西信洋三人展」

会 期：10月11日(木)～24日(水)
時 間：10:00～17:00
休館日：10月14日(日)、21日(日)

「Circulations(仮)」

会 期：11月6日(火)～11日(日)
時 間：12:00～18:00(最終日:15:00まで)

「Circulation 10」

会 期：11月13日(火)～18日(日)
時 間：12:00～18:00

「第16回 SAGA ART JAM展」

会 期：11月24日(土)～12月2日(日)
時 間：11:00～17:00(最終日:15:00まで)

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

アートスペース嵐 スケジュール

「第11回ヴィジュアルヴォイス展vol.2」

会 期：10月7日(日)～13日(土)(玄関ホールギャラリー)
時 間：9:00～20:00(最終日:16:00まで)

「死亡理由」

会 期：10月16日(火)～24日(水)(玄関ホールギャラリー)
時 間：8:00～19:00

「芸術学部造形学科複合領域彫刻3年次生展」

会 期：10月31日(水)～11月8日(木)
(玄関ホール、玄関ホールギャラリー、遊意館2階ラウンジ)
時 間：12:50～17:00(最終日:15:00まで)

柿色

柿色(かきいろ)とは、柿の果実のような鮮やかで濃い橙色のことです。柿の果実の色の系統の柿色としては、色見本の一般的な「柿色」。4種類の通称「柿色」がありますが、江戸時代以前は「柿色」といえば柿渋の柿色だけを指しており、柿の実にちなんだ芽えた赤味の橙色が、いつ頃から「柿色」と呼ばれるようになったのかはハッキリしていません。

「専攻科展」(デザイン専攻コミックアート)

会 期：11月14日(水)～20日(火)(玄関ホール、玄関ホールギャラリー)
時 間：9:00～20:00(最終日:17:00まで)

「Zodiac sign Archive」

会 期：11月22日(木)～29日(木)(玄関ホールギャラリー)
時 間：9:00～18:00(最終日:16:00まで)

「芸術学部デザイン学科映像アニメーション領域卒業制作プレ展示」

会 期：12月3日(月)～7日(金)(玄関ホールギャラリー・遊意館2階ラウンジ)
時 間：10:00～17:00(最終日:16:00まで)

「芸術学部デザイン学科生活プロダクト領域卒業制作プレ展示」

会 期：12月7日(金)～12日(水)(玄関ホール)
時 間：9:00～17:00(最終日:15:00まで)

「第1回青研究会展」

会 期：12月15日(土)～24日(月・祝)(玄関ホール、玄関ホールギャラリー)
時 間：9:00～20:00(最終日:17:00まで)

※大学の授業や行事により、展覧会の内容や日時を変更する場合があります。

連続公開講座「京の美意識」

四季をおりなす美しい景観に恵まれ、都として約1200年にわたる歴史の時を刻んできた京都の独特の知恵や美意識について、今年度は「京都の住」をテーマに講師をお招きして、ご講演いただいています。

第119回 「芸術・工芸がもたらす心のゆとり」

日 時：11月10日(土)14:20～15:50
講 師：千田 誠次 氏 <唐長 十二代目>

※有響館4階・G401教室にて開催(参加無料)
お問い合わせ先:TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

絵本読み語り「あらし山びこ」

附属図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」では、近隣の小学生や児童を対象に、季節に合わせた絵本の読み語りイベントを開催しています。地域のみなさんと京都の文化を学び、ふれあう時を一緒に過ごしながら、子どもたちの読書の第一歩を応援しています。

日 時：11月17日(土)13:00～13:30
テーマ：えほんとおそぼう

日 時：12月15日(土)13:00～14:00
テーマ：本プログラム「クリスマス」

※ともに有響館1階・附属図書館内にて開催(参加無料)
※大学授業・行事などにより開催日時、テーマなどを変更する場合があります。
お問い合わせ先:TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

サガフリーマーケット「サガノミノイチ」

本学では、学生有志によるフリマ実行委員会の主催でフリーマーケットを開催しています。学内に会場に、リサイクル品だけでなく、学生の手作りグッズから世界にひとつの作品まで、美大ならではのラインナップが並びます。在学生はもちろん、近隣の方々もご参加・ご出展いただけるサガフリーマーケット「サガノミノイチ」にご期待ください。

日 時：11月24日(土)11:00～16:00
場 所：ギャラリー棟前・芝生エリアなど

※天候や、大学授業・行事などにより開催日を変更・中止にする場合があります。
お問い合わせ先:TEL. 075-864-7898 社会連携・研究支援グループ

大学関連行事予定 Sep.2018 - Dec.2018

9月 3日(月) 前期集中授業期間 8日(土) 後期授業開始 14日(金) 体験入学 16日(日) AO入試Ⅲ期 23日(日・祝) 入試対策実技講習会 30日(日) 大学院入試(前期) ※社会人、留学生含む 専攻科入試(前期)	11月 3日(土・祝) 公募制推薦入試 ※本学・岡山で実施 4日(日) スカシップ入試(前期) ※本学・岡山で実施
10月 20日(土) 指定校推薦入試 3年次編入学入試(前期) ※留学生含む 21日(日) 学園祭 27日(土) 学園祭オープンキャンパス 28日(日) 学園祭オープンキャンパス	12月 9日(日) 外国人留学生入試(前期) 海外帰国生入試(前期) 社会人入試(前期) 24日(月・祝) 年内授業最終日 25日(火) 冬季休業 1月 6日(月・祝) 冬季休業



学校法人 大覚寺学園
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学



公式
Facebook



公式
Twitter



公式
YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7858(代) FAX.075-881-7133 <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第66号 2018年9月14日発行 編集:嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行:学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学
info@kyoto-saga.ac.jp

